

http://www

新型インフルエンザ ニュースレター@青森県

Pandemic Flu Newsletter @Aomori Pref

新型インフルエンザ関連情報をお届けする、ニュースレター

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2011年4月1日から通常の季節性インフルエンザに変わりました。

現在は、「平時」(新型インフルエンザが発生していない状態)です。

発行日 Newsletter Date

2011年11月24日

Front Page

『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第3号早刷り版

目次 Inside This Issue

- 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第3号早刷り版
- 【速報】ブタ由来インフルエンザA(H3N2)感染症例の発生(米国)

米国でのブタ由来インフルエンザ H3N2 感染症例報告数(2011年9月以降)

発生州	数
インディアナ州	2
ペンシルバニア州	3
メイン州	2
アイオワ州	3
合計	10

こんにちは、青森県保健衛生課です。

米国ではこの数か月間、ブタ等への暴露によるブタ由来インフルエンザ H3N2 感染症例の報告がされてきましたが、今回、ヒト-ヒト感染による感染症例の報告がありました。第3号早刷り版で、その概要をお知らせします。

速報

ブタ由来インフルエンザ A (H3N2) 感染症例の発生 (米国)

米国アイオワ州公衆衛生局 (IDPH) は、11月22日、3例のブタ由来インフルエンザ A (H3N2) 感染症例を確認したと発表しました。

- 今回確認された患者等に関する情報は、次のとおりです。
 - この3例の患者は、同州ウェブスター及びハミルトンの2郡において確認され、いずれも子供でした。
 - この3例の患者は、ヒト-ヒト感染によるものでした。ただし、このヒト-ヒト感染は限定的で、これまでに更なる患者の確認はされていません。
 - この3例の患者の症状は、季節性インフルエンザの症状(発熱、咳、倦怠感、筋肉痛、食欲不振)に類似しており、いずれの患者も重症化せず、全員回復しています。
 - IDPHでは、季節性インフルエンザワクチンはこのウイルスに対して幾分かの免疫を与える可能性があるとしているほか、咳やくしゃみをするときは口を覆うなどの個人的な防御策及び発症時の外出自粛の重要性を強調しています。

また、IDPHは、特異的なこのウイルスに関して、医療機関や救命救急(ER)でのサーベイランスを強化しています。
- 今回確認された3例の患者から同定されたブタ由来インフルエンザ H3N2 ウイルスも、ヒトで流行したインフルエンザ (H1N1) 2009 の遺伝子に由来しているものでした。
 - この3例の患者の報告で、米国における2011年9月以降のブタ由来インフルエンザ H3N2 ウイルス感染症例は10人となりました。米国疾

病管理センター（米国 CDC）は、11月4日、メイン州で6例目、インディアナ州で7例目の感染症例を確認しているほか、ペンシルバニア州でも感染症例を確認しています。（これら3州での感染症例は、いずれも動物への暴露、動物への暴露があった人との接触がありました。）

3. 米国 CDC は、ブタ由来インフルエンザ H3N2 に対して、ヒトの季節性インフルエンザワクチンは効果がないが、抗インフルエンザ薬（タミフル、リレンザ）は効果があるとしています。

【アイオワ州における新たなインフルエンザ株を含むインフルエンザの流行
2011年11月22日】

<http://www.idph.state.ia.us/ldphNews/Reader.aspx?id=A9B82864-57E2-4EFD-8836-24DF9400B43D>

【米国 CDC インフルエンザ（H1N1）2009の遺伝子をもつブタ由来インフルエンザ H3N2
感染症例の6例目及び7例目の確認 2011年11月4日】

http://www.cdc.gov/media/haveyouheard/stories/H3N2_virus2.html

発行：青森県健康福祉部保健衛生課

030-8570 青森県青森市長島 1-1-1

Phone:

017-734-9284

Fax:

017-734-8047

E-mail:

hoken@pref.aomori.lg.jp

URL:

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html